

長野県感染症情報(週報)

《情報編》

2026年(令和8年)
第22週
(2026年5月25日～
2026年5月31日)

主な発生動向

○感染性胃腸炎

感染性胃腸炎の報告数は前週から減少しました(前週:7.82人/定点→今週:7.32/定点)。ウイルスや細菌などの病原体が原因となる感染症で、嘔吐や下痢などの症状が現れます。主な感染経路は接触感染と経口感染のため、調理前後や食事の前、トイレやおむつ交換の後には、石けんと流水による手洗いを心掛け、感染予防に努めましょう。

○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は前週から減少しました(前週:5.04人/定点→今週:3.75人/定点)。A群溶血性レンサ球菌による上気道感染症で、発熱、のどの痛み、倦怠感などの症状が現れます。主な感染経路は飛沫感染と接触感染のため、手洗い、手指消毒、咳エチケットなどの基本的な感染対策を心掛けましょう。

【ダニ媒介感染症に注意しましょう】

春～初冬にかけてダニの活動が活発となり、特に春～秋にかけてマダニの活動が活発となります。このため、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、つつが虫病、日本紅斑熱などのダニ媒介感染症に注意が必要です。重症熱性血小板減少症候群(SFTS)は、西日本を中心に患者報告がありますが、近年は感染確認地域が拡大しています。これから、野外作業やレジャーなどで、ダニの生息場所に立ち入る機会が増える時期となります。ダニに刺されないように、草むらや藪に入る際は、肌の露出が少ない服装を心掛けましょう。また、ダニに刺された場合は、無理に引き抜こうとせず、医療機関を受診し処置を受けてください。刺された後は数週間程度、体調の変化に注意し、発熱等の症状が現れた場合には、速やかに医療機関を受診しましょう。

○厚生労働省「ダニ媒介感染症」

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164495.html>

○「ダニの感染症に注意しましょう！」

<https://www.pref.nagano.lg.jp/shippei-kansen/kenko/kenko/kansensho/joho/dani.html>

全数把握感染症

類型	報告疾患・報告数
一類感染症	なし
二類感染症	結核2例、潜在性結核感染症2例
三類感染症	なし
四類感染症	E型肝炎1例、つつが虫病2例、レジオネラ症2例
五類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症1例、侵襲性肺炎球菌感染症1例、水痘(入院例)1例、百日咳1例

定点把握感染症

◆定点当たりの報告数(今週の主な感染症)

感染症名	今週	前週比	1週前	2週前
感染性胃腸炎	7.32	93.6%	7.82	6.43
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.75	74.4%	5.04	3.36
流行性角結膜炎	0.60	40.0%	1.50	1.00
新型コロナウイルス感染症	0.34	38.6%	0.88	0.66
咽頭結膜炎	0.32	74.4%	0.43	0.04
急性呼吸器感染症(ARI)	54.86	93.2%	58.88	55.88

○速報値のため今後の集計で変更が生じることがあります。

○厚生労働省「感染性胃腸炎(特にノロウイルス)」

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/norovirus.html>

○国立健康危機管理研究機構「A群溶血性レンサ球菌感染症」

<https://id-info.ijhs.go.jp/infectious-diseases/group-a-streptococcal-infection/index.html>

○第23週は、6月10日(水)発行予定です。

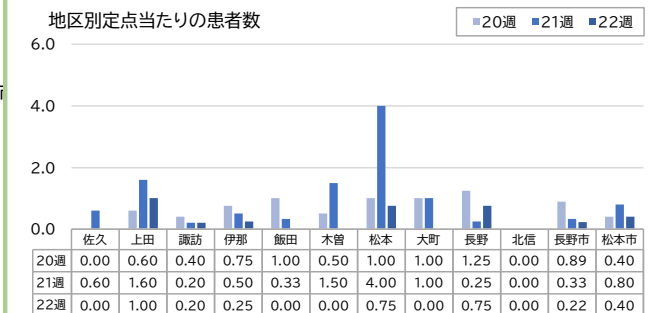
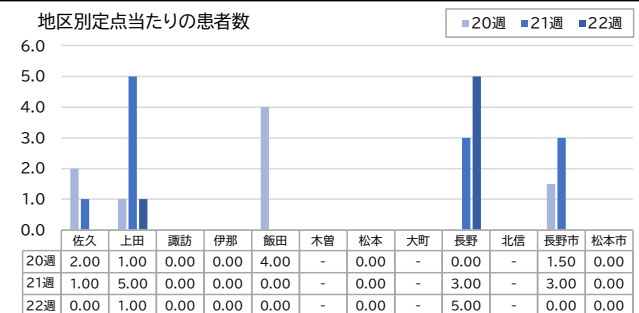
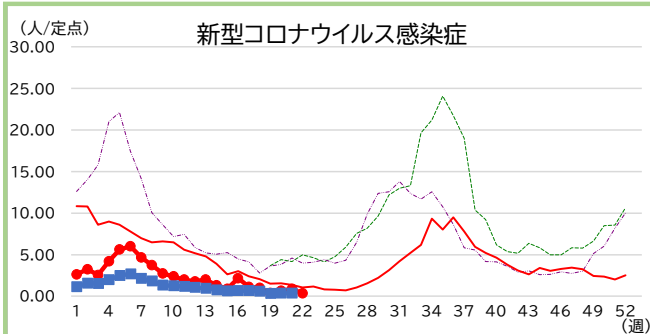
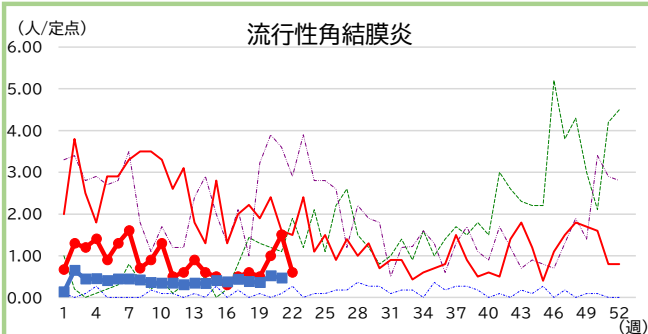
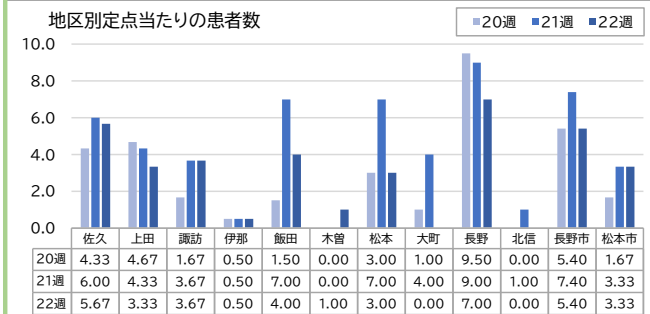
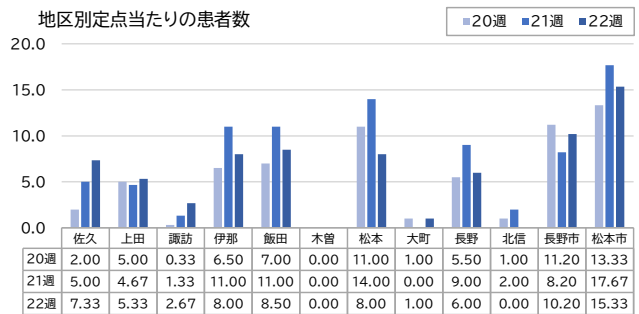
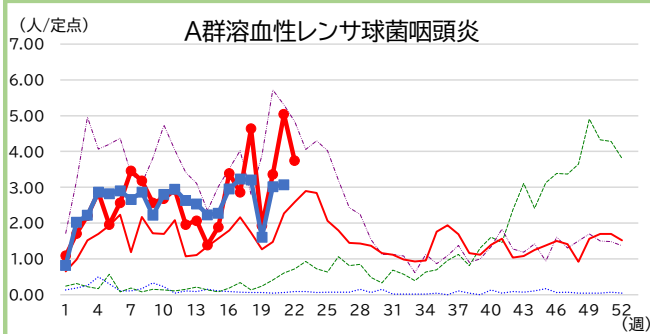
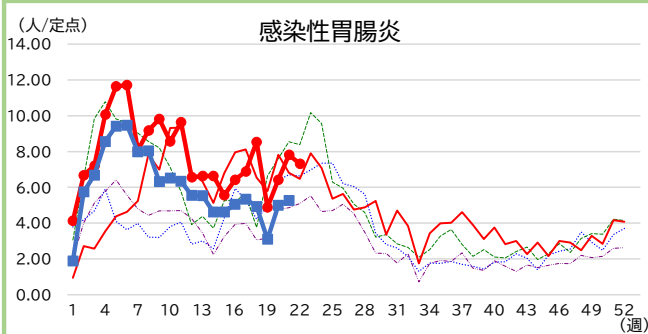
(問合せ先)

担当 長野県健康福祉部疾病・感染症対策課
中沢、山口
電話 026-235-7148(直通)
026-232-0111(代表) 内線 4135
ファクシ 026-235-7334
Email kansen@pref.nagano.lg.jp

注意が必要な感染症の推移

定点把握疾患4疾患

— 県2022 — 県2023 — 県2024
— 県2025 ● 県2026 ■ 国2026



急性呼吸器感染症(ARI)の推移

